

商店街活性化事業計画の概要

地域

千葉県千葉市

認定日

平成26年6月2日

事業名：地域コミュニティ活動拠点設置によるコミュニティ活動等の活発化と個店の魅力発信事業

事業者名： 稲毛商店街振興組合(千葉県千葉市)

事業実施期間 平成26年6月～平成29年3月

■商店街活性化事業の概要

市所有の消防庫跡地に多目的スペースを備えた地域コミュニティ活動拠点を建設し、年に一度の「稲毛あかり祭夜灯」イベントをはじめ、日常的に地域住民との連携による各種事業を実施して、活動コンセプト「街あかり、心のあかり、夢あかり AKARI - TOWN稲毛」の具現化を図る。そこには、コミュニティカフェや住民の手作り品展示・販売スペースを設けるとともに、地域住民の特技を活かしたミニカルチャー教室や地域防災活動拠点としての活動を中心に事業を展開していく。

■商店街活性化事業の内容

◆地域住民ニーズ

地域住民及び来街者に対するアンケート調査の結果、商店街へのニーズとして、施設面では「散歩や買物の途中で休憩できる施設」や「地域活動に利用できる多目的スペース」等の要望が多く、事業面では「高齢者を対象とした健康維持講座」や「地域住民の特技を活かしたミニカルチャー教室」等の要望が多く、日常的に地域住民との連携による事業の実施を望む声があった。

◆実施計画の主な内容

- ・地域コミュニティ活動拠点「あかりサロン稲毛」の設置・運営

旧消防庫跡地を活用して地域コミュニティ活動拠点を設置する。施設にはコミュニティカフェ、手作り品展示・販売コーナー、無料休憩所、トイレ、地域交流スペース、世代間交流スペース及び防災備蓄倉庫を備える。

- ・地域住民との連携によるミニカルチャー教室の開催

経験豊富な中高年の方々の持つ知識や技術と何かを学びたいとする地域住民を結び付け、中高年者の生きがいづくりと地域コミュニティの形成に資する事業として運営する。

- ・地域防災を目的とした各種防災講座及び防災訓練の実施

- ・個店の魅力を伝える「まちゼミ」の開催

従来から行っている一店逸品運動に加えて、「まちゼミ」を開催し個店の魅力発信を行う。

■商店街活性化事業計画の目標(定量的目標)

- ①商店街の歩行者通行量を実施計画終了時に、平成25年数値から9%の増加を目指す。
(平成25年 3,672人→平成29年 4,000人)
- ②商店街の売上額を実施計画終了時に、平成25年度数値と比較して9%の向上を目指す
(平成25年度 666百万円→平成29年度 727百万円)

【稲毛あかり祭夜灯の様子】

【地域コミュニティ活動拠点完成予想図】

